

被災地は復興への支援をこんな具合に求めているのだ！

～ひと味違う報告・討論を聞いて大いに学び合おう～

主 催：明治大学大学院 新領域創造専攻 山本俊哉研究室

共 催：NPO「り・らいふ研究会」＋「仮設市街地研究会」

日 時：2011年4月25日（月）18時～20時（17時半開場）

会 場：明治大学駿河台校舎・アカデミーコモン2階（A1-3）

懇親会（20時頃より） 会場：カフェ・パンセ（アカデミーコモン1階）

地 図：http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html

東北から関東に至る膨大な地域に、想像を絶する甚大な被害をもたらした東日本大震災も発災後7週目を迎えようとしています。しかしいまだ被災の全体像はつかみきれていません。被災地・被災者の日々の生活を支援することが、今、もっとも大切ですが、長い時間がかかるであろう、すまい・なりわい・まちの復旧・復興にも目配りすべきはいうまでもありません。

復旧・復興に関与するまちづくりプランナーも、この間、多くのメンバーが被災地を訪れています。そのような方々の中でも、阪神・淡路や中越震災などでユニークな活動実績を挙げた何人かをお招きしての集まりです。報告・討論をいただくとともに、若い学生諸君も交え、熱く学び合おうとの思いで、主催者&共催者（各々のHP参照）が企画しました。

その熱は、やがて被災地復興支援へと結びついていくに違いない！！是非ご参加ください。

（報告）

山本俊哉（明治大学教授／都市計画家）「復興支援～陸前高田市の被災から考える～」

江田隆三（り・らいふ研究会理事／地域計画連合代表）

「復興のために集落単位の仮設住宅を！～陸前高田市長洞集落の場合～」

*岩手の被災地から、菅野広紀・福田利喜のお二人が駆けつけ、緊急発言の予定！！

（討論）

延藤安弘（愛知産業大学教授／まちづくりの語り部）、宮西悠司（まちづくりプランナー／まちづくり教の教祖）、濱田甚三郎（首都圏総合計画研究所代表／仮設市街地推進の騎手）、森反章夫（東京経済大学教授／思いの熱い社会学者）、矢野トンプー（まちづくり造形家）、＋上記報告者ほか

参加希望者は下記宛 4月22日（金）正午までに、氏名・所属（学生はその旨明記）・電話番号をお書きの上お申し込みください。定員150名です。参加費不要（当日資料代として千円程度を予定／学生は無料）。終了後の懇親会（会費：3,000円）参加も併せてご予約ください。

お申し込みはE-mailで→ relife@relife.or.jp（NPO法人り・らいふ研究会事務局）